

# 本年度のとりまとめの構成(素案)

## はじめに

### 1. 巨大地震が発生した時の起こりうる事態

- 巨大地震が発生した時の起こりうる様々な事態による影響
- 膨大な災害廃棄物発生
- 既存の廃棄物処理システムにおける処理の可能性
- 災害廃棄物の処理先の確保の方向性

### 2. 巨大地震が発生した時の災害廃棄物処理に関する目指すべき方向

- 発災前の周到な事前準備と発災後の迅速な対応
- 危機意識の共有による役割分担の明確化、関係者間の連携強化
- エネルギー供給やサプライチェーンの寸断を想定したバックアップ機能の確保
- 行政機能や救援・復旧支援機能の低下・停止を想定したバックアップ機能の確保
- 交通網の遮断を想定したバックアップ機能及び輸送体制の確保
- 被災地の被災状況と復興の進捗に応じた災害廃棄物の処理目標の設定
- 関係者の能力を結集した膨大な災害廃棄物処分先の確保
- 防災拠点となり得る強靱な廃棄物処理システムの確保

### 3. 具体的な取り組みの基本的方向性

- 適正かつ迅速な災害廃棄物処理に必要なハード面の取り組み
  - ・仮置場等の確保と適切な運用
  - ・ごみ焼却施設の強靱化
  - ・膨大な災害廃棄物を受入れる仮設処理施設の整備
  - ・膨大な災害廃棄物を受入れる最終処分場の確保
  - ・民間事業者の活用
  - ・広域輸送体制の整備
  - ・し尿処理体制の構築
- 適正かつ迅速な災害廃棄物処理に必要なソフト面の取り組み
  - ・広域的な連携体制の整備
  - ・有事を想定した実効性の高い処理計画の策定
  - ・人材の確保・育成と受入体制の整備
  - ・防災用設備や必要な資機材の確保
  - ・衛生状態の悪化や二次的な環境汚染の最小化

### 4. 今後の具体的な課題の検討に向けて

- 関係者間の連携体制構築に向けた検討
- 地域単位での災害廃棄物処理体制構築に向けた具体的な検討
- 制度的な対応に関する検討
- 人材育成・体制の強化に関する検討

## おわりに